

地域安全学会

2013年度第7回理事会 議事録

日 時：2014年3月22日（土） 15：00～18：00

場 所：同志社大学東京オフィス（中央区京橋 2-7-19 京橋イーストビル3階）

出席者：宮野道雄、立木茂雄、糸井川栄一、市古太郎、池田浩敬、大西一嘉、柄谷友香、重川希志
依、庄司学、田中聡、牧紀男、松岡昌志、目黒公郎、井野盛夫

委任状：岩田孝仁、大原美保、岡田成幸、清野純史、能島暢呂、村尾修、森伸一郎、村上ひとみ、
矢代晴実

欠 席：加藤孝明、越村俊一、佐土原聡

事務局：竹本加良子

配布資料：

- 25-7-1 2013年度第7回理事会議事次第（宮野）
- 25-7-2 2013年度第6回理事会議事録案（寺島）
- 25-7-3(1) （社）地域安全学会残高試算表 26.1（竹本）
- 25-7-3(2) 地域安全学会事業別損益計算書 26.1（竹本）
- 25-7-3(3) キャッシュ・フロー（竹本）
- 25-7-3(4) 注記 26.1（竹本）
- 25-7-3(5) 会員数・会費納入状況・催促状況（竹本）
- 25-7-4 2014年度役員名簿（能島）
- 25-7-5(1) 地域安全学会 HP における記載内容の更新作業のお願い（庄司）
- 25-7-5(2) WEB サイト更新マニュアル（庄司）
- 25-7-6 ニュースレターNo. 87 目次（柄谷）
- 25-7-7(1) 地域安全学会春季大会の開催について（市古）
- 25-7-7(2) 石田裕之氏について（市古）
- 25-7-8 2014年度総会資料（案）（宮野）
- 25-7-9 3rd ICUDR Call for Abstracts（立木）
- 25-7-10 表彰委員会総会資料修正案（大西）

議題：

1. 前回議事録の確認（宮野）

前回議事録は異議なく承認された。

2. 会計・会勢・会員管理関係

2-1. 未払い金について

（竹本：資料 25-7-3(1)（社）地域安全学会残高試算表 26.1）

「貸借対照表」の未払い不明金（241,470 円のうち 150,000 円）は、法人化以前の、先生方への未払い分と思われるが、記録がないため報酬を検討中であった。田中先生所持のリストで誰に対して未払いなのかを確認し、事務局を中心に年度内に解決する。

2-2. 会費未納者の状況報告について

(竹本：資料 25-7-3(2) 地域安全学会事業別損益計算書 26.1)

- ① 東日本大震災連続ワークショップに論文の売り上げを立ててもらおうようお願いし、修正されたことを確認した。
- ② (竹本：資料 25-7-3(3) キャッシュ・フロー)

H26/3/17(月)時点での会員数・会費納入状況は以下の通りである。

	学生会員	正会員	総数
会員数	88	569	657

	学生会員	正会員	総数
H25 年度会費 納入者	50	456	506
H25 年度会費 未納入者	38	113	151

	学生会員	正会員	総数
H24 年度会費 納入者	41	480	521
H24 年度会費 未納入者	20	46	66

H26/3/17(月)時点での会費支払い催促状況は以下の通りである。

	学生会員	正会員	総数
催促した人数	43	154	197
催促後支払った人数	5	41	46

顧問は会費免除にしている。事務局作の「2年間会費未納入者(除籍対象者)のリスト」に記載のある人は、基本的には2年間の会費未払いにより、退会扱いとなる。ただし、退会されては困る先生方へは理事が個別に連絡し、会費をお支払いただくようお願いする。

赤字 1,181,611 円解消のため、正会員費 5,000 円を 2,000 円アップの 7,000 円に値上げを総会に諮る。

なお、将来的に会費の未払いを防ぐため、会費は自動引き落としにすることを検討する。

3. 2014 年度総会・春季研究発表会(市古)

3-1. プログラムについて

(市古：資料 25-7-7(1) 地域安全学会春季大会の開催について) p.1

(市古：資料 25-7-7(2) 石田裕之氏について)

- ① 兵庫県からの補助金があるため、「一般参加可能」を明示するよう県から指示があった。
- ② プログラムの時間の流れは例年通りである。
- ③ 宿泊は各自手配とする。
- ④ 現地の実行委員会の企画提案により、シンガーソングライターである石田裕之さんのミニコンサートを開催する。補助金対象になることから、謝金 5 万円を用意している。なお、昨年は 2 万円であった。
- ⑤ 人と防災未来センターの坂本さんが案内人となり、現地見学会「阪神・淡路復興まちづくりの現場視察」を行う。13 時半に開始予定。

3-2. 懇親会の会費について

(市古：資料 25-7-7(1) 地域安全学会春季大会の開催について) p.3

懇親会費は、一般 6,000 円、学生 2,000 円とする。レストランには 4,000 円で予約している。

3-3. 後援について

兵庫県、兵庫県立大学に後援の依頼をしている。

3-4. 技術賞について

(市古：資料 25-7-7(1) 地域安全学会春季大会の開催について) p. 1

論文賞の対象はなし。技術賞が 1 件あり、技術賞受賞講演 (30 分) を行う。

3-5. 理事会について

総会のあと、新年度第 1 回の理事会を行う (1 時間)。総会で新役員が承認され、理事会で会長、副会長を決める。

4. 学術委員会関係 (田中)

4-1. 論文集 No. 22

地域安全学会論文集 No. 22 が昨日アップされた。論文が 8 本アップされている。

4-2. 論文集 No. 23

本日学術委員会を実施し、地域安全学会論文集電子ジャーナル No. 23 の審査を行った。投稿 10 本あり (1 本保留)、9 本が 1 次審査を通過。

4-3. 学術委員会の開催日

学術委員会は京大の品川キャンパスで 5 月 31 日 10 時から 16 時に実施する。

4-4. 論文集 No. 24

No. 24 (秋季大会発表論文) の投稿締め切りを 5 月 23 日正午に決めた。

5. 表彰委員会関係 (大西)

(市古：資料 25-7-10 資料名なし)

技術賞については今回 4 件の応募があり、白山工業の黒田真吾氏筆頭の「地震ザブトンの開発と減災啓蒙活動」1 件に決定。メダルは代表者のみに無料で贈呈、連名者については希望があれば実費で提供。表彰状は全員に提供。奨励賞が 2 件あるのでメダル計 3 個を調達する。

6. 広報委員会関係 (庄司・柄谷)

(市古：資料 25-7-5(1) 地域安全学会 HP における記載内容の更新作業のお願い (庄司)
資料 25-7-5(2) WEB サイト更新マニュアル (庄司))

6-1. HP の更新作業

ホームページを委員会等で更新していただくための更新方法等について説明を行った。主要な更新項目について、資料を基に説明した。

- ① 更新については各担当が行う。
- ② お知らせについては広報委員会の方で更新する。
- ③ 更新の期限は 2014 年度総会までとする。

6-2. ニュースレター No. 87

(柄谷：資料 25-7-6 ニュースレター No. 87 目次)

- ① HP アップを 4 月 21 日目標とし、締め切りを 4 月 11 日とする。
- ② 「0. 東日本大震災特別委員会からのお知らせ」については、開催予定のワークショップについて宮古市役所の危機管理監と詳細を調整中であり、No. 87 に掲載するかどうかは保留とする。
- ③ 平成 25 年度地域安全学会論文賞審査報告は前回のニューズレターに既に掲載してあるので削除する。
- ④ 昨年、秋季の優秀発表賞について前回のニューズレターに掲載がもれていたもので、No. 87 に追加する。

7. 2014 年度総会資料（案）（宮野）

（市古：資料 25-7-8 2014 年度総会資料（案）（宮野））

7-1. 総会について

- ① 総会の日時は 2014 年 5 月 16 日（金）16 時から 17 時とする。
- ② 1 ヶ月前に速達の手紙で連絡する。簡単な議事を添付する。
- ③ 議事内容に役員選挙規定の改訂、会費の変更が追加されている。
- ④ 年間優秀論文賞、論文奨励賞、技術賞の授与があり、技術賞受賞者には受賞講演を行ってもらう。
- ⑤ 議事次第（資料 25-7-8）の赤字部分については、確認が必要。監査などを経た後に差し替える。
- ⑥ 新たに選出された役員については総会で承認を得ることになる。

7-2. 事業計画について

最近 2 年間は法人化の件もあり理事会を年 7 回実施していたが、2014 年度から 6 回に戻す。

7-3. 東日本大震災連続ワークショップについて

宮古市の危機管理監と詳細を調整中であり、10 月 18 日、19 日の日程で宮古市に要望する。当初、田老のグリーンピアで開催予定だったが、市民に集まってもらうために市街地の方が良いのではということで開催場所を変更する可能性がある。

7-4. 秋季大会

11 月 7 日、8 日に開催する。

7-5. 国際学術交流について

第 3 回国際都市防災会議は、9 月 28 日から 10 月 1 日にアメリカのボルダーで開催される。
第 2 回アジア都市防災会議は、11 月 20 日から 21 日に台北で開催される。

7-6. 役員選挙規定の改訂

改訂した規定について、総会で承認を得るために議題としてあげている。

7-7. 会費の改訂について

- ① 「2）2013 年度決算」と「3）2014 年度役員改選結果」の間に会費の改訂を審議項目として追加する。
- ② 会費の値上げが否決された場合に備え、事業予算書を二通り用意しておく。

8. 2014 年度役員について（宮野）

（市古：資料 25-7-4 役員名簿（案））

新たに 5 名が選出されている。

9. その他（立木）

- ① 第3回国際都市防災会議のアブストラクトの締め切りが5月1日に決まった。
- ② 第2回アジア都市防災会議のペーパー締め切りは間もなくアナウンスされる。
- ③ 第2回アジア都市防災会議の開催日は、台北の要望に通り11月20日、21日でよしとする。
- ④ ICUDRのアブストラクトの査読について、関西大学の越山先生と永松先生に国際委員会に仕分けなどを担当してもらうために加わってもらう。
- ⑤ ICUDRに参加する若手研究者を確保するために、期日を定めペーパーを提出してもらい、審査した上で、渡航費と参加費を数名の枠内でICUDRが負担する。

出席代表理事

宮野 道雄



監 事

井野 盛夫

